「高血圧フォーラム 2024」の見どころ

第 1 日目（5 月 25 日土曜日）AM の見どころ　＜基礎研究を中心とした領域＞

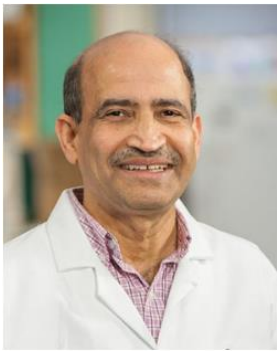
世話人：西山　成（香川大学）

プログラム企画委員：河原崎　和歌子（国際医療福祉大学）

基礎研究を中心とした領域では、高血圧形成に深く関わる「ミネラロコルチコイド受容体（MR）」、「アンジオテンシン II 1 型（AT1）受容体」の二大役者と、高血圧に予防的な効果がある「運動」の新たな深淵にスポットを当てて掘り下げていきます。

シンポジウム 1 では、糖尿病を背景とした高血圧や腎症、心血管障害の形成における新機序の解明（O-GlcNAc-MR 系、RAGE-MR 系）、糖尿病網膜症の進行における MR を介した高血圧連関の臨床的知見、高血圧におけるレニン・アンジオテンシン・アルドステロン系のエピジェネティック制御機構、高血圧を惹起する新たな MR 活性調節機構の解明（LSD1、CASZ1）、について、ご活躍が注目されている 5 人の先生にご登壇いただきます。

特別講演 1 では、近年、その詳細な構造と機能が明らかになってきた AT1R についての話題です。リガンドが特定の受容体に結合する際に、下流の複数あるシグナル伝達経路のうち、特定の経路を選択的に活性化または抑制する分子のことを biased ligand（バイアスド リガンド）といい、従来知られていた下流のシグナル伝達経路を全て遮断するリガンドとは異なる、多様な効果をもたらすことが分かってきました。AT 1 R は下流に G タンパク質依存的なシグナルと、β-アレスチンを介する G タンパク質非依存的なシグナルがあり、G タンパク質あるいはβ-アレスチン依存的なシグナル伝達のみを活性化または抑制する biased ligands リガンドが様々に存在し、特定の応答のみを引き起こすことから、新たな治療薬として注目を集めています。AT1R の biased ligand 研究の第一人者である、クリーブランドクリニックラーナー医科大学の Sadashiva S. Karnik 先生にお招きして WEB にてお話を伺います。



特別講演 2 では、高血圧の予防・治療法として重要な「運動」についての話題です。ご存じのように本態性高血圧は極めて発症率の高い生活習慣病であり、運動不足がその一因とされています。定期的な運動トレーニングは高血圧を予防し改善する効果があり、WHO や米国スポーツ医学会、日本高血圧学会等の勧告に見るように、世界中でその実践が推奨されています。血圧調節における運動トレーニング効果の機序はこれまで不明な点が多かった中、

近年、神経系機能の改善にみる中枢性機序と、血管系機能の改善にみる末梢性機序が提案され、運動による血圧調節の機序が徐々に明らかになりつつあります。本講演では心臓血管中枢による循環調節機序の研究でトップランナーとして活躍されている順天堂大学の和氣秀文先生をお招きし、運動時の中枢性循環調節機序や、神経性高血圧の発症機序、運動による高血圧改善の中枢性機序等についてご講演いただきます。

また、昨年発足した高血圧学会基礎研究推進部会の現状報告と今後の展望につき、パネルディスカッション形式で発展的報告を行う予定です。
本企画が、日々研究や臨床に邁進されている皆様にとって、新たな視点で高血圧の深淵をのぞく一陣の風になりますことを願い、ご参加をお待ちしております。

第 1 日目（5 月 25 日土曜日）PM の見どころ　＜Digital Hypertension を中心とした領域＞
世話人：矢野　裕一朗（順天堂大学）

血圧管理を含むデジタルヘルス分野における革新的な技術の一つとして、生成系 AI（人工知能）の活用が注目されています。このたび、我々は最先端のデジタルヘルス技術と生成系 AI の融合による可能性を探求するセッションを開催します。このセッションでは、医療データの解析から個別化医療の提供、さらには新たな治療法の開発に至るまで、生成系 AI が如何にしてデジタルヘルス分野に革命をもたらしているかをご紹介します。

演者の一人　HyeonChang Kim 先生

【プログラムハイライト】
・臨床実装に向けたカフレス血圧測定技術の最前線
・生成系 AI の基礎とデジタルヘルスへの応用
・パネルディスカッション：医療専門家と AI 技術者による未来の医療についての議論
2 つのスポンサードセミナーでは高血圧アプリ、糖尿病合併高血圧治療について最新の話題を提供いただきます。

【対象者】
デジタルヘルスに興味がある医療関係者、研究者、学生、テクノロジーに興味のある方、そして未来の医療に貢献したいと考えているすべての方。

この講演会は、最新のテクノロジーを活用して医療分野に変革をもたらしたいと考える方々にとって、貴重な学びと繋がりの場となることでしょう。最先端技術の専門家から直接学べるこの機会をぜひお見逃しなく。我々と共に、デジタルヘルスの未来を形作る第一歩を踏み出しましょう。

第 2 日目（5 月 26 日日曜日）の見どころ　＜臨床を中心とした領域＞

世話人：勝谷　友宏（勝谷医院）

2 日目は高血圧撲滅に向けて、実臨床・多職種連携の視点で最新の話題、課題、問題点を幅広く議論したいと思います。

シンポジウム 4 では多職種連携の実際について、運動療法、栄養士との連携、コーチング、保険薬局との連携の視点から、他分野の先生もお招きして新しい見方を養っていただきたいと思います。

シンポジウム 5 では、実地医家のアンケートでよく出る質問の中かから、起立性低血圧、白衣高血圧、拡張期血圧にどのように向き合い、どう対応すればよいのか、エキスパートの先生に解説していただきます。

午後の会長講演では、今回のフォーラムのメインイベントとして三浦伸一郎先生より「運動療法」について自らご講演いただきます。

シンポジウム 6 では、糖尿病、循環器、慢性腎臓病の分野で盛り上がっている Fantastic Four（ARNI, SGLT2 阻害薬, β 遮断薬, MRB）の使い方や意義について、あくまでも「高血圧治療」の観点から専門医の先生方に新風を吹き込んでいただきます。

３つのスポンサードセミナーでは臨床イナーシャ、糖尿病における個別化治療、腎デナベーションについて最新の話題を提供いただきます。

ぜひご参加いただき一緒にワクワク体験をして、高血圧撲滅を目指しましょう。

以上